

ふじしろ政夫と共に市政を変える会

発行 ふじしろ政夫と共に市政を変える会 ニュース08年10月号
〒273-0122 鎌ヶ谷市東初富5-24-50 TEL&FAX 047-445-9144
E-メール masao.fujishiro@zc.wakwak.com ホームページ http://e-kamagaya.com/



市議会議員
ふじしろ政夫

「市場原理」さようなら……「共生社会」こんにちは

今、非正規雇用が働く者の1/3 1700万人、働けば働くほど貧しくなる社会をつくりあげることで史上最高の利潤をあげるグローバル企業……しかも国の800兆円以上の借金は一銭も返済できず、それどころか“財政再建”を錦の御旗に、国民の社会保障、セーフティーネットは、ズタズタ

に崩されています。……解決の鍵は？

新自由主義の市場原理至上主義を根っこから批判しきれぬか否かにかかっているのではないのでしょうか。

ソ連の崩壊を境にして世界中で“資本主義の勝利”が語られ、新自由主義の力はさらに拡大しました。世界の資本にとって、日本特有の社会的規制・慣行は桎梏でしかなかったのです。それ故“公開と参加、自己決定”による自由な資本の競争が要求されまし

た。時を同じくして地方分権への道が開かれ市民からは“市民参加と情報の公開”そして市民が自己決定する「自治」が求められました。

“公開と参加そして自己決定”と同じ言葉ですが、目ざす社会はまったく違うものでした。しかし、市民は、小泉政権の“ぶっこわす！規制緩和、構造改革”がまるで市民が望んでいる“政官財の癒着、既得権の上にあぐらをかく富の偏在への改革”であるかのごとく、思い込み80%以上の支持をあたえました。その結果は、弱肉強食の格差社会となり、働く市民の生活も命もすべてをボロボロになるまで使い果す資本の論理が、日本中の経済、社会、政治に、そして教育や地域コミュニティにまで入り込んでしまっています。三位一体は自治・分権の改革でなく、地域格差と地方の財政危機を生み出しました。

社会のあり様を根本から変えなければなりません。今こそ地域の中から一人一人の市民を大切にす“自治”の街をつくっていきましょう。

絶望の市場原理主義の社会を希望の共生社会へ！

9月議会で決まったこと

◇乳幼児医療費助成 就学前まで拡大… でも助成なくなる家庭も

(議案第3号)

子育て支援策の一つとして乳幼児医療費の助成が拡大されました。就学前まで拡大しましたが、県の補助金策にあわせた形ですので、一部負担金が200円から300円にアップ。しかも所得制限を新たに加えたので、給与収入860万円以上の家庭には、まったく乳幼児医療費の助成がなくなりました。

「財政的に厳しいから」とはいえ、少子化対策ならすべての乳幼児に対して助成すべきなのは…。

◇平成19年度決算…課題はあれど 「健全団体」です。

平成19年度普通会計の決算額は、歳入が269億7303万1000円、歳出は258億6710万7000円、実質収支は10億3859万3000円の黒字でした。

ただ単年度実質収支は、6億5250万2000円の赤字で、これまでのたくわえを減らしてしまった形になります。経常収支比率は99.6%で、かなり硬直した財政です。

人件費、公債費、扶助費の義務的経費の他、補助費、物件費が比率を悪化させています。補助費の徹底的見直しが必要です。

本年度から始まった、財政健全化判断の比率(4つの指標)はすべてクリアーし、“健全自治体”としての決算になりました。

◇全小・中学校の建物の耐震診断を！

(議案第4号)

補正予算2700万円で、鎌ヶ谷じゅうの小中学校の体育館の耐震診断をすることとなりました。平成22年までにIS値0.3未満(震度6強で崩壊)の建物の耐震工事をする為です。国からの補助率が2/3となるのが0.3未満ということでIS値0.31の鎌ヶ谷中学校校舎の工事は平成23年度以降といわれていますが…一日も早い工事を要請します。(F)



ふじしろ政夫の一般質問

☆「ヒロシマ・ナガサキ議定書」に賛同！



ヒロシマ・ナガサキに原爆がおとされてから63年、広島市長が言うように「核兵器は廃絶されることにだけ意味がある」のです。「非核平和都市宣言」をしている鎌ヶ谷市が世界の恒

久平和の実現へ向けて何が出来るのか議論しました。

財政的課題はあるものの、小中学生の広島・長崎への派遣、非核平和祈念式典の実行へ向けてなんらかの担保ある行動を検討すると答弁。又2020年までに核兵器を全廃させる為、平和市長会議が表明した「ヒロシマ・ナガサキ議定書」に賛同すると力強く鎌ヶ谷市の立場が示されました。

世界の恒久平和達成を目指す

総務部長：「非核平和都市宣言」の趣旨は、命の尊厳を深く認識し、平和憲法の精神に基づいて核兵器の全面撤廃と軍縮を推進し世界の恒久平和達成を目指すことです。

広島・長崎への小中学生の派遣事業を！

総務部長：姉妹都市ワカタネの若人が鎌ヶ谷でホームステイしたあと広島を訪問しています。様々な条件整備が必要ですが、可能性を検討していきます。

非核平和祈念式典を！

ふじしろ市議：広島市から寄贈された被爆した広島市庁、広島信金の敷石が総合福祉センターにあります。8/6～8/9にかけて平和祈念式をすべきではないですか？

総務部長：取り組みへの可能性を検討します。

ヒロシマナガサキ議定書に賛同します

総務部長：非核平和都市宣言を行い、全国市長会の一員である鎌ヶ谷市としても当然、「ヒロシマ・ナガサキ議定書」に賛同します。

☆鎌ヶ谷市のシンボル国史跡・野馬土手を街づくりに……

平成19年2月小金中野牧の捕込・野馬土手が国史

跡に指定されてから1年半の間に残念ながら野馬土手が約20%とり崩されています。

後期基本計画の街づくりにどう生かしていくのか質問しました。

鎌ヶ谷総合病院のそばの「大込」の野馬土手の価値は大きい

生涯学習部長：400m程の「大込」土手は史跡として重要な位置を占めます。保存方法も検討します。



名刺に野馬土手を

ふじしろ市議：「鎌ヶ谷といえば野馬土手」となるよう、市職員の名刺に野馬土手をデザインすべきです。
生涯学習部長：以前梨などを記載しました。野馬土手も検討します。

本年度中から野馬土手を学校教育の中で活用します

生涯学習部副参事：初小では、野馬土手と周辺環境を生かした学習の研究指定校となるよう申請しています。

小学校3年生の市内めぐりのコースに野馬土手見学を含めようと思います。

“野馬土手サミット”の実現へ

ふじしろ市議：流山から佐倉に至る間に小金牧そして佐倉牧があります。“野馬土手サミット”で光をあてるべきでは……

生涯学習部長：小金牧だけでも11市に及ぶもの、牧の史跡に光をあてるイベントとして方策を検討していきたいです。

☆自殺予防と自死遺族への支援を

9月10日は世界自殺予防デーです。平成10年以降毎年3万人以上の方が自殺においやられています。

1日90人以上の人がなくなる社会は異常です。自殺は個人的問題でなく、社会的に解決すべき課題であるとする「自殺対策基本法」が平成18年に制定されました。鎌ヶ谷市がどう対応しようとしているかを質問しました。

実態把握は不明

健康福祉部長：自殺者の原因、心理状況については不明です。実態調査に取り



組んでいきます。

精神的な面と社会的要因との支援の必要性

ふじしろ市議：自殺直前には“うつ病”などの精神的疾患がありますが、それに至る社会的危機要因(失業、多重債務など)がいくつか重なります。相談窓口でのネットワークが必要です。

福祉部長：関係者が一堂に会した会議は一回も開催してません。今後連携して取り組んでいきます。

自死遺族への対応は？

福祉部長：市として取り組んでいません。

自殺総合対策大綱の目標へ向け取り組みます

福祉部長：大綱の目標20%減を今すぐ設定できませんが、重くうけとめ取り組みます。

誰もが生きやすい社会の実現へ

～地域における自殺対策～

自殺予防週間(9/10～16)に、千葉県と千葉市主催で「ちば自殺対策県民フォーラム」が、又東京では、「自殺実態白書2008」をつくらしたNPO法人ライフリンク、内閣府、東京都共催のシンポジウムが開かれました。



千葉フォーラムの中で大野裕慶応大教授は、「自殺は孤立してしまいおいつめられた結果としての死なのです」「孤立させない地域づくりこそが予防対策だ」と話しました。自殺に結びつく精神疾患は個人の問題でなく、社会の力で解決すべき課題だと問題点を指摘しました。そしてこの10年間毎年3万人以上の自殺者があるのは「つらくなったら互いに手をさしのべることが出来る社会が喪失している証左です」と“互いに支えあう街”の大切さを語りました。

千葉いのちの電話・わかちあいの会ひだまり代表高橋宏子さんからは、どんなにか自死遺族への支援が必要なことかが、遺族のメッセージで語られました。「あのとき気づいていれば…」「どうして?…」という自責の念と悲しみの心をおさえて生活している自死遺族が心を開けるようにと互いに話し合う場“ひだまり”の運営状況も報告されました。

東京の「実態白書」のシンポジウムでは、ライフリンクの清水さんが「1998年3月、即ち97年度決算の結果から急激に経済的要因による自殺者が増えました。特に50代の男性の増加が大です」「自死遺族は300万人に達しています」「被雇用者の自殺の多い地域や、危機要因が4つほどからんで自殺にいたることなどが分ってきました」と実態調査の結果を報告しました。

シンポジウムに参加した姜尚中さん、宮台真司さんは「経済的理由で“自殺”にいたる社会は恥ずべきうすっぺらな社会です」(宮台)「これまで企業と家庭が担ってきた福祉が新自由主義、グローバリズムで崩壊し、実は国が福祉をなにもしてこなかった政治の矛盾のあらわれが毎年3万人の自殺者です」(姜)と自殺を生み出す日本の社会構造を厳しく批判しました。そして姜尚中さんは「自殺」と言わず「困窮死」と呼ぶべきだと提案しました。

青森県十和田市から参加した上十二保健所長反町さんからは、市民も参加した積極的ネットワークの中で、自殺の率をさげている実践が話され、地方自治体での自殺対策の重要性が示されました。

“互いに支えあうネットワークと人を孤立させない地域・社会づくり”の自殺対策が十分におこなわれている街は“誰もが生きやすい社会”です。そんな社会をつくりあげていかなければ…と思われました。

おいしい梨 味自慢コンテスト

先般ジャスコ津田沼店にて、千葉県果樹連主催の“千葉なしのコンテスト”がありました。鎌ヶ谷からは13点が出品され、研究センター長賞に三橋一義さん、千葉県農業会議会長賞には中台博和さん、千葉県農業共済組合連合会会長賞には石原和弘さん、さらに鈴木良紀さん、三橋敬さん、組合梨研究部ら6名の農家の方々が栄えある賞を受賞しました。



“かまがやのおいしい梨”は明日の農業を担う若者の毎日の研鑽の賜でしょう。共によるこび舌つづみをしましょう。

新型インフルエンザ対策用備品購入

(補正予算)197万6千円

消防隊員の感染防止策として『防汚衣上下、N95マスク、手袋、シューズカバー、ゴーグル』を1セットとして660セット購入する補正予算です。

浦安市は、危機管理体制計画を策定し全市的に対応を始めていますが、鎌ヶ谷市は消防隊のみの対応で、危機管理指針の『緊急事態対応計画』にまったく手をつけていません。

全庁的な取り組みで全市民対応の計画をたてるべきです。



“市民自治を考える会”

ムダ使いをチェック！

— 児童遊園委託契約の怪？ —



地蔵前児童遊園

市と鎌ヶ谷第二区連合自治会との間で10年間児童遊園の点検委託契約が、“畑がつくられているという事実を無視した内容”で締結されていました（地蔵前児童遊園2530㎡）。市は自治会に対して「不当利得」を返還請求し、畑の耕作者2名に対しては、損害賠償をしたとのこと（なぜか3年間）。

『市民自治を考える市民の会』が情報公開請求したところ、自治会から市への毎年の事業報告がないとのこと。契約書第6条に毎年報告すべきとなっているのに…。いったいどうなっているのだろうか。『市民の会』は議会に対して申し入れ（9/8）をしました。①市と第二区連合自治会との間の事実関係を明らかにし、市民に知らせるように、と同時に②補助金・委託料を受ける連合自治会の会長が、行政をチェックする立場の議員であることは、おかしいと、議員と自治会などの会長との兼務の問題点を提言しました。

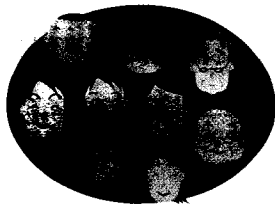
『市民自治を考える会』は、大学生の“ザイバク”に刺激され、自分達にも出来ることは？…と考え、市民の目線で委託料、補助金を見直してみようと調査を始めたとのこと。まず自分達に最も身近な自治会・町会への“回覧等の事務委託”についても情報公開請求してみました。1250万円程の委託料の中から390万円の金額が、25名～24名の自連協の理事さんの報酬となっていることにも疑問を提起して、「どうして？」と市へ質問状を出したとのこと。

市民の手によるムダ使いのチェックは、鎌ヶ谷市の行財政改革への強力な協働となるでしょう。

市民の声

再び、自治基本条例について

本年4月に青森県おいらせ町の自治基本条例案完成の打上げに同席する機会がありました。指導された首都大学東京の先生と基本条例に携わった町役場の方々がその完成を喜び合う様



に、私は大きな感銘を受けましたが、同時に大変情けない思いをしました。鎌ヶ谷市では一般市民、行政そして策定委員会など多くの方が、多くの時間を費やして準備した自治基本条例が“塩漬け”状態で眠っています。自主講座「市民自治」を主宰の福嶋先生（前我孫子市長）は、“塩漬け”は“否決”より良くないと述べています。「誰がどのような理由で反対なのか？」、「誰がどこの部分をどのように変え

たいのか？」行政と市議会はこのようなことをオープンにし、市民に対して説明責任を果たすと共に、速やかな自治基本条例の実現に向け、最大級の努力をされるよう強く要望します。（鎌ヶ谷二丁目 奈良 直次）

～“野馬土手”のある街～Inかまがや



…野馬の水飲み場…

道野辺村の田頭、字囃子水

道野辺本町の七面堂下には、囃子水の湧水があります。中心市街地に残る数少ない湿地で、今でも清水が湧いています。この

水を野馬は、うまそうに飲んでいたのでしょ。

YOSAKOI 第3回 よさこい鎌ヶ谷

参加団体32、9月の暑い太陽の下、威勢良くYOSAKOI祭りが催されました。今年はペア・ロード、市役所駐車場、新鎌通りの三会場で23,000名の市民を集めました。子供チームも元気にDOKKOISHO・DOKKOISHO・SORAN・SORAN



お知らせ

☆反住基ネット オータムセッション

社会保障カード・番号は…？

SKプラザ（飯田橋・東京清掃労組本部）

10月19日 10:00～ 1000円

☆自主講座「市民自治」 栗山町議会事務局長

講演とディスカッション

10月25日 13:30～ 中央学院大学 1000円

☆泉市政報告会

10月19日 13:30～ 道野辺中央コミセン

☆津久井市政報告会

11月2日 13:30～ まなびいプラザ

☆「裁判員制度を考えよう！」

斉藤 貴男さん講演 松戸市民劇場ホール

11月12日（水） 18:00～ 500円

（チケットあり ふじしろまで）

ふじしろ政夫市政報告会&市職員にきく「自治基本条例」

11月3日（祝） 13:30～ まなびいプラザ

☆鎌ヶ谷市の「自治基本条例」はどこに？

—市職員・策定委員のおはなし—

☆ふじしろ政夫市政報告

□法律弁護士無料相談 要予約 ふじしろ市議まで

11/29（土） 13:00～

□基 楽 会 毎週 金曜日 13:00～